

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

平成21年度実施計画

平成21年 4月

秋 田 市

目次

計画の概要	2
「まちづくり」別計画	
1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり	3
2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり	10
3 安心して健康に過ごす助け合いのまちづくり	13
4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり	17
5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり	18
進捗状況	20

計画の概要

1 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上をはかり、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に掲載された主要事業をまとめ、これを示すものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度から27年度までの11年間とし、前期6年（平成17年度～22年度）、後期5年（平成23年度～27年度）に区分しています。

3 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の5つの「まちづくり」にある施策ごとに、市が実施主体となって行う事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する事業のうち、21年度に実施する53事業について掲載しています。

4 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は、毎年度の事業計画（予算編成）を踏まえて改訂を行っていきます。

「まちづくり」別計画

- 1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり
- 2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり
- 3 安心して健康に過ごす助け合いのまちづくり
- 4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり
- 5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり			4,140,539	1,188,159
第1節 土地利用計画と都市計画の推進			13,000	
第6次秋田市総合都市計画等策定事業 【新秋田市都市計画マスタープラン策定事業、新秋田市国土利用計画策定事業】	住民の意向を反映させながら新市における都市の将来像や整備方針を明確にし、都市づくりの具体的な将来ビジョンの確立とともに、地域別のあるべき市街地像、課題に対応した整備方針や諸施設の計画等を定める。策定に当たっては、土地利用に関する関連計画である秋田市国土利用計画との計画内容の整合及び類似した作業・手続きや方針決定等一括して進めるため、第3次秋田市国土利用計画の策定と同時一体的に進める。事業期間 平成21年度～22年度	市民意向調査、課題の整理、将来フレーム及びまちづくりの基本理念・将来都市像の設定を行う。	13,000	
第2節 交通体系の整備			276,434	
地方バス路線維持対策事業 【地方バス路線維持対策事業】	生活バス路線は、日常の市民生活を支える移動手段として重要であることから、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保を図る。	バス事業者に対する補助金を交付する。	213,973	
バス交通総合改善事業 【バス交通総合改善事業】	利用者が年々減少し、路線の維持が困難な状況となっている郊外部における不採算路線へマイタウン・バス運行を実施するとともに、新たな運行形態の確立も視野に入れ、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、市民の移動手段の確保と充実を図る。	秋田市マイタウン・バス西部線、北部線を運行する。	57,522	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
都市施設計画調査 【総合交通体系調査事業】	効率的な道路網整備を図るために、秋田都市圏総合交通体系調査の結果に基づき、見直しが必要とされた都市計画道路について、都市計画変更に向けた詳細な調査・検討を行う。	新屋十軒町線等についての詳細な見直し調査等を行う。	4,939	
第3節 道路網の整備			1,120,071	438,159
幹線道路整備事業 南部中央線 【幹線道路整備事業 南部中央線】	国道13号の交通負荷を軽減し、交通渋滞を緩和するとともに、河辺・雄和地区と市中心部を結ぶ幹線道路として南部中央線を整備する。(南部中央線・茨島工区 L=750m W=20m JR羽越本線横断)	道路改良工事および用地買収を実施する。	277,400	106,200
街路事業 土崎駅前線 【街路事業 土崎駅前線】	JR土崎駅の交通結節点としての機能を十分に発揮させるとともに、鉄道交通の利便性向上を図るため、駅周辺の狭隘な道路を拡幅整備する。(土崎駅前線 L=348m W=18m 駅前広場A=4,500㎡)	道路改良工事のほか駅前広場の整備工事を実施する。	297,239	168,239
幹線道路整備事業 割山南浜線 【街路事業 割山南浜線】	秋田大橋から雄物川と並行し割山地区を結ぶ幹線道路であり、平成21年度供用予定の南部中央線と連絡させることで、幹線道路のネットワーク効果を拡大させ、また国道13号の渋滞対策にも効果を発揮する。(割山南浜線・茨島工区 L=620m W=16m 旧雄物川横断)	国土交通省が施行する新屋水門改築工事に要する費用のうち道路部分にかかる費用を負担する。	361,000	138,000
道路改良事業 鹿野戸安養寺線 【道路改良事業 鹿野戸安養寺線】	雄和椿川地内の主要地方道路秋田雄和本荘線から県立中央公園、秋田空港などへ連絡する鹿野戸安養寺線について、急勾配や歪曲区間を解消するため、道路改良工事を行う。	道路改良工事を300m実施するとともに、道路改良工事のための用地買収および移転補償を行う。	61,000	1,000

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
橋りょう整備事業 本田橋	一級河川岩見川に架かる本田橋は、雄和田草川地区と四ツ小屋末戸松本、御所野地区とを結ぶ重要な橋であるが、鋼材の腐食による断面減少などに伴い、耐荷力が低下し、安全性が確保できないことから、架け替えを行う。	橋梁の予備・詳細設計を委託するとともに、地質調査および測量を実施する。	60,000	
【橋梁整備事業 本田妙法線本田橋】				
県施行合併支援関係道路整備事業負担金	合併支援に資する県施行の街路事業に対し、整備費用の一部を負担する。(秋田中央道路、川尻広面線、千秋広面線、新屋土崎線、秋田駅東中央線)	県施行街路について整備費の一部を負担する。 秋田中央道路(H9-H19)L=2,550m W=9.75m 川尻広面線(寺町)(H6-H24)L=344m W=25m 千秋広面線(手形)(H8-23)L=540m W=25-35m 新屋土崎線(山王)(H15-H24)L=980m W=22.2-30m	63,432	24,720
【県施行街路事業負担金(合併支援道路関連)】				

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第4節 市街地の開発整備			2,143,292	750,000
中通一丁目地区市街地再開発事業 【市街地再開発事業】	千秋公園と一体となった街なかオアシスを開発コンセプトに、文化と交流の拠点形成を目指す組合施行による第一種市街地再開発事業。具体的には、全天候型商業モール、広場、大規模公共駐車場、公共公益施設、居住施設を整備する。市は、広場、(仮称)秋田市にぎわい交流館、駐車場を取得する。	中通一丁目地区市街地再開発組合に対し、再開発事業関連経費(地盤調査、建築設計、権利変換計画作成等)を助成する。	240,000	240,000
秋田駅東第三地区土地区画整理事業 【土地区画整理事業 秋田駅東第三地区】	秋田駅周辺にふさわしい街並みを形成するため、道路・公園等の都市基盤の整備と宅地の整序を行い、健全な市街地の形成を図る。(地区面積45.5ha/事業施行期間 平成5年度~/都市計画道路8路線 L=2,874m/公園整備7箇所A=14,150m ² /区画道路100路線L=10,967m/建物移転1,097戸)	都市計画道路5路線、区画道路10路線、特殊道路3路線および砂利道3路線を整備するほか、建物38戸の移転を補償する。	1,545,188	319,500
秋田駅西北地区土地区画整理事業 【土地区画整理事業 秋田駅西北地区】	本地区は駅前地区でありながら、商・住等が混在する低密度の土地利用となっている。このため、本事業によって道路・公園等の都市基盤施設の整備と敷地の整序を行い、駅東西間の一体化を図るとともに、駅周辺にふさわしい良好かつ健全な市街地の形成を図る。(地区面積5.8ha/事業施行期間 平成6年度~/都市計画道路3路線L=821m/公園整備1箇所A=1,736m ² /区画道路11路線L=914m/建物移転63戸/特殊道路1路線L=37m)	都市計画道路3路線および区画道路2路線を整備するほか、建物2戸の移転を補償する。	358,104	190,500

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第5節 住宅環境の整備			668	
秋田市住宅マスタープラン推進事業 【住宅マスタープラン推進事業】	「新秋田市住宅マスタープラン」に基づき、公共賃貸住宅の入居者募集に関する情報提供、住宅の耐震診断・改修に関する研修会や住宅のバリアフリー化を促進するための講習会を開催する。	「新秋田市住宅マスタープラン」に基づき、公共賃貸住宅の入居者募集に関する情報提供を行うとともに、住宅の耐震診断・改修に関する研修会や、住宅のバリアフリー化を促進するための講習会を開催する。	668	
第6節 上・下水道の整備			439,440	
河辺地域浄水場施設改良事業 【浄水場施設改良事業(河辺地域)】	和田、松淵、俄沢各浄水場および各配水池等の施設整備を計画的に行う。	松淵浄水場ろ過機および制御盤の修繕を行う。	42,940	
雄和地域送配水管等整備事業 【仁井田・雄和送水施設整備事業】	四ツ小屋から雄和浄水場までの送水管布設と雄和ポンプ場の築造、および雄和浄水場から清水木浄水場までの送水管を布設する。 送水管布設 ・四ツ小屋～雄和浄水場 250 L=12,696m ・雄和浄水場～清水木浄水場 200 L=11,260m 雄和ポンプ場築造	平沢地区から雄和浄水場までの送配水施設を整備する。 送水管布設工事 250L=5,981m(平沢～雄和浄水場)	333,000	
公共下水道管渠建設事業(河辺地域) 【公共下水道管渠建設事業(河辺地域)】	汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大を図る。(式田、坂本、下川原地区)	式田地区などの汚水面整備を行う。	63,500	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第8節 環境の保全と新エネルギーの活用			1,025	
自然環境保全経費 【自然環境保全事業】	秋田市自然環境保全条例に基づき、市民や事業者等への情報提供や開発行為の審査、自然環境の現況把握を行うために、種々の調査や企画を実施するとともに、市民活動計画を支援するなど、自然環境保護の推進を図る。	河辺・雄和両地域の自然環境現況の調査を実施し、今後の自然環境保全行政の基礎資料とするとともに、自然環境の保全などを行っている市民活動を支援する。	1,025	
第9節 資源循環システムの充実			138	
家庭系ごみ分別推進事業（ごみ減量・分別井戸端会議） 【一般廃棄物減量事業（ごみダイエット作戦）】	各家庭においてごみの分別や減量を実践してもらうため、各地域においてごみに関するタウンミーティング（ごみ減量・分別井戸端会議）を開催する。	各地域の市民団体を対象に、市のごみの現状に関する情報を発信するとともに、ごみの減量・リサイクルについて市民と意見交換を行う「ごみ減量・分別井戸端会議」を開催する。	138	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第10節 高度情報化への対応			146,471	
固定資産税地理情報システム構築事業 【電子自治体推進事業（総合文書管理システム、総合地理情報システム等構築）】	航空写真撮影を行い、地番現況図・家屋現況図・地目現況図などの各種図面をデータベース化する。 事業期間 平成17年度～21年度	家屋現況図・地目現況図・画地現況図などの各種図面をデータベース化する。	146,471	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり			844,506	
第2節 貿易の振興			2,465	
対岸経済交流事業 【海外市場開拓支援事業】	海外からのバイヤー招聘の実施、海外商談会（ハバロフスク、モスクワ）の開催、海外見本市への参加支援などにより、商談機会を提供する。また、海外販路の拡大を支援するため、貿易関連団体と連携しながら、戦略的に重要な国・地域の情報や貿易先進事例に関する情報提供をすることにより、市内企業の貿易の普及啓発を図る。	シベリア鉄道沿線地域における商談会やバイヤー招聘事業を実施・開催する。	2,465	
第6節 観光・コンベンションの振興			1,267	
観光案内板等整備事業 【観光案内板等整備事業】	本市を訪れた観光客を目的地までスムーズかつ的確に誘導するための観光案内板を整備する。	河辺・雄和地域の観光案内板を整備する。	947	
雄遊カヌークルージング振興事業 【雄遊カヌークルージング振興事業】	雄物川流域市町および観光事業者、NPOなどと意見交換し、秋田市民へのカヌー・クルージングの普及と共にカヌー体験を含めたモニターツアー、イベントを企画・検討し、将来的に「雄物川＝カヌー・クルージング」というイメージを定着させ、体験型観光メニューの一つとして確立させる。	カヌーと周辺観光、宿泊を併せたモニターツアーを実施する。実施にあたってはH20年度モニターツアーの意見等を踏まえ、参加者は市外、近隣県からも募り、観光誘客の可能性を検討する。	320	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備			840,774	
農林水産業振興戦略会議運営経費 【(仮称)秋田市農林水産業振興戦略会議事業】	農林水産業振興戦略会議を開催し、「農林水産業・農村振興基本計画」および農林水産業の振興施策に関する審議、提言等を得る。	農林水産業振興戦略会議を開催し、「農林水産業・農村振興基本計画」および実施計画の見直しに関する調査、農林水産業施策に関する審議・提言を得る。	989	
土地利用型農業生産振興事業 【農業生産総合対策条件整備事業】	基幹作物である水稲・大豆等の生産技術向上と担い手農家による集団的取組の推進、および地域農業の生産コスト低減を図るための基幹施設・生産機械の導入に対する助成を行う。	水稲用機械(直播機)および大豆用機械(コンバイン、播種機、中耕カルチ、溝堀機、選別機等)の導入に対して助成する。	12,492	
金足農業集落排水事業 【農業集落排水事業 金足地区】	金足地区の農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	処理施設の農業集落排水の管路工事(L=7,115m)および排水処理施設の基礎土木工事を実施する。	656,000	
公共下水道管渠建設事業(太平・柳田地区) 【農業集落排水事業 太平、柳田地区】	汚水管の整備を進め、水洗化の普及拡大を図る。(汚水面整備 太平、柳田地区)	汚水整備のための基本計画策定業務委託を行う。	30,000	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
浄化槽整備推進事業 【農業集落排水事業 河辺鶉養地 区、雄和神ヶ村地区、雄和繫地区】	集合処理区域（公共下水道、農業集落排水等）以外の個別処理区域を対象に、市が設置および維持管理を行う浄化槽整備の推進を図る。平成18年度に現地調査を行い基本計画を策定し、農業集落排水事業から整備手法を変更した雄和神ヶ村地区、雄和繫地区、河辺鶉養地区を含め、平成19年度から10年間で約800基の浄化槽を整備する。	浄化槽および附帯施設（放流用のポンプ、管路、水路等）を整備する。	36,862	
県営経営体育成基盤整備事業 【県営経営体育成基盤整備事業】	県が実施する水田のほ場整備事業費の一部を市が負担する。	暗渠排水、湧水処理等のほ場整備実施に伴う事業費の負担を行う。（河辺大沢、河辺赤平、雄和女米木、雄和銅屋、雄和左手子）	78,150	
県営ため池等整備事業 【県営ため池等整備事業】	県が実施するため池等の整備事業費の一部を市が負担する。	水路、ため池、頭首工の改修のための調査、実施設計、工事の実施に伴う事業費の負担を行う。 ・水路（仁井田堰(2期)） ・ため池（上北手猿田沢、金足杉沢、雄和釜ヶ沢） ・頭首工（雄和芝野）	26,281	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第3章 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり			917,364	152,972
第1節 地域福祉の推進			1,568	
地域福祉計画推進経費 【地域福祉計画推進事業】	地域福祉計画に位置づけた市の取組みの進行管理を行うとともに、市民・地域の取組みを促進するためのPR活動等に努める。また、地域福祉計画の重点事業である「孤立死を出さない地域づくり」および「災害時の要援護者の避難支援」に取り組む。	第2次秋田市地域福祉計画のPRに努めつつ、「孤立死予防総合対策」のとりまとめおよび「災害時要援護者の避難支援プラン(全体計画)」の策定に取り組む。	322	
障害者プラン推進経費、高齢者プラン推進経費 【けやきのまちのしあわせプラン推進事業】	けやきのまちのしあわせプランに位置づけられている各部門計画に基づき、各種福祉サービスの提供体制の充実とサービス利用の促進を図る。	障害者プランおよび高齢者プランに基づき、各種施策に取り組む。	1,246	
第3節 障害者保健・福祉の充実			122,931	
障害者交通費補助事業 【身体・知的障害者交通費補助事業】	身体・知的障害児(者)の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障害者の通院時タクシー代の一部を助成する。	身体・知的障害児(者)の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障害者の通院時タクシー代の一部を助成する。	113,923	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
精神障害者交通費補助事業 【精神障害者交通費補助事業】	精神障害者の継続的な通院と生活基盤の安定を図るため、通院や通所する際に市内路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。	精神障害者保健福祉手帳を所持し、通院や通所のために市内路線バスを利用する者に対し、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。	9,008	
第4節 母子保健・児童福祉の充実			422,921	48,901
児童福祉施設整備推進事業 【児童福祉施設整備推進事業】	老朽化した公立保育所等の入所児童の処遇改善を図るため、施設・設備整備を行う。	河辺保育所（仮称）の整備および通園バスの更新を行うとともに、旧市内の公立保育所の環境改善のための改修を行う。	422,921	48,901
第5節 保健体制の充実			10,976	
健康あきた市21計画推進事業 【健康あきた市21推進事業】	広報、マスメディアおよびホームページ等を活用した啓発活動に努めるとともに、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催等により、市民の健康づくりに対する意識の醸成をはかる。また、計画最終年度である平成22年度の改定に向けた準備として、市民栄養調査、市民アンケート等の諸調査を実施する。	「健康あきた市21」に基づき市民の健康増進を支援する。特に、がん検診の受診勧奨を着実に推進する。また、同計画の最終評価の基礎資料となる諸調査を実施する。	1,946	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
健康増進情報システム関係経費 【健康増進情報システム統合事業】	健康増進情報システムに乳幼児健診、予防接種、がん検診等の受診結果等を入力し、個人データの経年的管理や各種集計を行う。また、健康情報を一元管理することにより、受診対象者の把握や未受診者への受診勧奨に活用するほか、地域住民の健康動向を把握し、保健指導の充実、疾病の改善を図る。	乳幼児健診、予防接種、がん検診等の受診結果等を入力したシステムを活用し、地域住民の健康状況を経年的に把握し、保健指導の充実および疾病の予防を図る。	9,030	
第6節 衛生体制の充実			253,747	
斎場改築事業 【斎場改築事業】	将来の火葬需要への対応と施設・設備の老朽化に伴い斎場の改築を行う。事業期間 平成19年度～24年度	用地造成、既存建物一部解体、仮駐車場の整備や本体工事に着手する。	253,747	
第7節 医療・救急体制の充実			26,082	25,932
救急業務高度化推進事業 【救急業務高度化推進事業】	増大する救急需要に対して救急体制の強化を図るとともに、救急救命士の養成と高度救命処置に必要な資器材等を整備する。また、市民による応急手当の実施を推進し救命率の向上を図る。	救急隊員2名を養成する。また、城東高規格救急車を更新し、高度救命資器材を整備する。	26,082	25,932

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第9節 消防力と防災体制の強化			79,139	78,139
消防水利整備事業（河辺雄和） 【消防水利整備事業】	消火栓の新設、移設と防火水槽の新設、修繕を行い、計画的に充足をめざす。	河辺地区に消火栓 1 基を新設し、消防水利の整備を図る。	1,000	
車両整備経費（河辺・雄和） 【車両整備事業】	河辺、雄和地域へ出勤頻度の高い車両のうち、経年劣化した消防車両を計画的に更新整備するもので、予算的には経常的に支出を伴うものであるが、消防力の強化と機械装備の近代化、さらには安全性確保のため、計画の円滑な推進を目指す。	老朽化の著しい城東消防署化学消防ポンプ自動車、広面出張所消防ポンプ自動車を更新する。	75,791	75,791
車両整備経費（非常備）（河辺・雄和） 【車両整備事業（非常備）】	経年劣化した小型動力ポンプを計画的に更新整備するとともに、分団活動拠点となる各部等に109台の車両を配備し、以後更新を図る。	小型動力ポンプ積載用車両の更新整備をするものである。軽積載車（台班）	2,348	2,348

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり			228,820	106,066
第1節 学校教育の充実			228,820	106,066
小・中学校増改築等事業（河辺） 【小・中学校増改築等事業（河辺地域）】	老朽化が著しい校舎、体育館を改築する。	岩見三内小（校舎・体育館）の増改築を行う。	111,316	
小・中学校大規模改造事業（河辺） 【小・中学校大規模改造事業（河辺地域）】	経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧とともに、諸室の再配置等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善を図る。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保を図る。	河辺小（校舎、体育館）、岩見三内中（校舎）の大規模改修と岩見三内中（体育館）の耐震補強を行う。	109,262	106,066
小・中学校情報教育環境整備事業（河辺地域） 【小・中学校情報教育環境整備事業（河辺地域）】	河辺地域の小中学校の情報教育環境を旧秋田市の小中学校に統一し、機器のリース期間終了後、順次教育用コンピュータ等を更新する。	教育用コンピュータ等を継続使用する。	4,765	
小・中学校情報教育環境整備事業（雄和地域） 【小・中学校情報教育環境整備事業（雄和地域）】	雄和地域における小中学校の情報教育環境を改善するため、教育用コンピュータ等を更新する。	教育用コンピュータ等を継続使用する。	3,477	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり			561,138	
第6節 行政改革の推進と行政能力の強化			561,138	
第11次秋田市総合計画推進経費 【総合計画策定および推進事業】	第11次秋田市総合計画の着実な推進のため、期間計画の19-21期計画の進捗管理を行う。	第11次秋田市総合計画の着実な推進に向けた進捗管理を行う。	212	
庁舎建設検討経費 【庁舎・支所等総合整備事業 秋田市庁舎新築事業】	現庁舎が抱える老朽化、狭隘化、分散化という諸問題を解消するとともに、合併を契機とした市民が利用しやすい新庁舎の建設に向けた検討を行う。	新庁舎建設に向けた検討を継続する。	1,410	
西部市民サービスセンター整備事業 【庁舎・支所等総合整備事業（仮称）西部市民サービスセンター整備事業】	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして、西部市民サービスセンターを、支所、公民館などの公共施設の複合化をはかり、総合的に整備する。	建築・外構工事、支所・公民館引越、オープニングイベント、支所・公民館解体、事後家屋調査、家屋補償を行う。	149,094	

事業名	全体事業概要	21年度事業概要	H21年度事業費 (単位:千円)	うちH20年度 からの繰越額 (単位:千円)
<p>(仮称)北部市民サービスセンター 整備事業</p> <p>【庁舎・支所等総合整備事業 (仮称)北部市民サービスセンター整備事業】</p>	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして(仮称)北部市民サービスセンターを支所機能、住民自治施設、体育館等の機能を複合化するとともに、周辺道路整備を進めるなど総合的に整備する。まちづくり交付金の活用を図る。	杭打ち・本体工事、家屋事前調査、電波障害事前調査を行う。	267,707	
<p>電子入札運営事業</p> <p>【電子入札システム構築事業】</p>	入札制度の公平性、透明性の向上を図るため、平成16年度に導入した電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出を行い、入札結果を自動的に開札し公表する。	現システムと新システムのスムーズな切替をし、安定的運用を図る。	33,269	
<p>戸籍事務電算化経費</p> <p>【戸籍事務等電算化事業】</p>	事務の効率化による経費削減、市民サービスの向上、災害等に対する戸籍簿等の管理体制の強化を図るため、平成20年度に稼働した戸籍事務電算システムを運用する。	定期点検および保守等により維持管理を行う。	105,404	
<p>緑あふれるまちづくり基金積立金</p> <p>【合併市町村振興基金設置事業】</p>	合併後の本市における市民の連携の強化及び地域振興のため、当該基金を平成17年度に造成する。また、18年度以降は運用益を積み立てる。	基金の運用益を積み立てる。	4,042	
計			6,692,367	1,447,197

進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」に掲載する主要事業	119	950億円(1)
21年度実施計画	53	66億9,236万7千円
(うち河辺地域関係事業)	(12)	(8億6,189万7千円)
(うち雄和地域関係事業)	(12)	(9億8,791万1千円)
参考		
20年度実施事業(うち終了事業7)	(83)	(64億63万8千円)

1 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画における平成17年度～27年度の事業費の合計金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

2 20年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は72%になります(参考値)。